

資料 4

支所001	項目名	青谷オープン卓球大会補助金	新規事業
-------	-----	---------------	------

予算書項目	地域振興対策費	ページ	177
-------	---------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0857-30-8692

【11次総の実施体系】 2403

【事業の経過及び背景】  
人口減少がますます進み、高校の在り方が検討されている今、地域と連携した特色ある学校づくりが求められている。そのため、「卓球のまち青谷（昭和60年わかとり卓球競技会場）」、「卓球の青谷高校（インターハイ30回出場）」として名をはせた「卓球」を青谷町の資源として再認識する。

【事業の目的及び効果】  
青谷オープン卓球大会を開催することにより、鳥取市内の中学生に広く卓球実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な中学生の育成を目指す。また、青谷高等学校卓球部OB等、地域住民など地域を挙げて大会の企画運営にかかわることにより、地域及び中学・高校の活性化を図る。

【事業の内容・実績】  
近府県（鳥取県以外）の中学校と青谷中学校、鳥取県内中学校を対象とした男女別の団体戦リーグ戦を行う。また、卓球の技術向上を目指し講習会を実施する。  
令和3年度 2千円  
令和4年度 3千円  
令和5年度 400千円

【今後の取り組み】  
近府県の中学生にとって参加したいと思うような魅力のある大会を目指すとともに、中学・高校の活性化及び青谷の地域振興に繋がるよう継続して開催する。

(単位：千円)

前年度当初予算額	400
----------	-----

本年度要求額	400
--------	-----

総務部長段階査定額	400
-----------	-----

その他財源の内訳

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	400
---------	-----

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	400
計	400

備考欄

【これまでの成果】  
大会は、2日間日程で、講習会と大会の2本立てで構成。参加したチームの満足度は高い。参加費無料、レベルの高い試合ができる、講習会がおもしろい等。実行委員会、青谷町卓球協会のメンバーが大会や講習会に協力されるので、スタッフの体制が整っている。大会を継続することで、備品の更新ができています。

【今後の課題】  
青谷中学校、青谷高等学校とも、部員数の確保。青谷中学校の卓球部が団体戦の人数に満たない日が近々やってくるかもしれない。事業開始当初、青谷高校に優秀な選手を送るために開催するという目標があったが、達成できていない。また、部活のあり方について検討される中、週末2日間の大会日程は、参加しづらいと参加中学から言われている。宿泊するチームも減った。青谷中学校から、実行委員会メンバーから顧問を外してほしいと要望あり。大会の目的、あり方を検討する必要がある。

支所002	項目名	青谷地域活性化推進事業費	新規事業
-------	-----	--------------	------

予算書項目	新地域特別振興費	ページ	177
-------	----------	-----	-----

所属名	青谷町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位：千円)

前年度当初予算額	1,187
----------	-------

本年度要求額	1,187
--------	-------

総務部長段階査定額	1,187
-----------	-------

市長段階査定額	1,187
---------	-------

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,187
計	1,187

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【1次総の施策体系】2403

#### 【事業の経過及び背景】

青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、歴史文化などの魅力を次代に継承すべく、様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々のまちづくり団体等の活動を青谷地域全体の取組とするため、活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」を中心として盛り上げていく。

また、青谷地域を代表する伝統工芸品「因州和紙」を市内外に発信するため、和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介するPR事業を行う。

#### 【事業の目的及び効果】

青谷地域づくり連絡協議会が取り組む地域振興事業に対して補助をする。また、和紙工芸グループの協力による因州和紙の作品展示を実施する。

#### 【事業の内容】

- ・青谷地域づくり連絡協議会事業
  - ①因州和紙活用活動
  - ②美化活動
  - ③鳴り砂保全活動
  - ④青谷上寺地遺跡学習活動
  - ⑤青谷町物産販売促進活動
  - ⑥青谷の魅力発掘活動
  - ⑦観光促進活動
- ・因州和紙PR事業
  - 和紙工芸グループ制作の因州和紙工芸品を展示・紹介

#### 【事業の実績】

令和3年度 808千円  
令和4年度 1,130千円  
令和5年度 1,127千円

### 備考欄

#### 【これまでの成果】

青谷地域連絡協議会には、7団体が所属し、それぞれが青谷地域の豊富な地域資源である自然、歴史文化を生かした活動を行い、地域内外から多くの方が活動に参加した。それらの活動をとおして青谷地域の魅力、良さを再認識してもらえたとともに、地域づくりを図ることができた。

#### 【今後の課題】

令和5年度をもって、連絡協議会結成当初から活動を行ってきた団体が、十分な活動ができなくなったことなどで脱退した。また、6年度をもって、会員の事情により活動が継続できないとの理由で脱退を表明している。どちらの団体も、会員数の減少や高齢化などにより会員への活動の負担が大きくなったことも要因である。こうした活動団体の活動内容のマンネリ化や人的パワー不足が課題といえる。ただ、一方で若い世代を中心とした団体による活動が活発に行われているところがあり、まさに次世代へと活動がバトンタッチされている面がある。

支所004	項目名	青谷上寺地遺跡地域利活用運営事業費	新規事業
-------	-----	-------------------	------

予算書項目	新市域特別振興費	ページ	177
-------	----------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

### 事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【11次総の施策体系】2403

#### 【事業の経過及び背景】

青谷上寺地遺跡は、全国、世界に誇る歴史的な発掘により、関係者のみならず歴史愛好家や一般観光客にも注目が高まっている。

青谷地域では、貴重な歴史遺産を活かした地域づくりを進めるべく、地元の小中学校、並びに県立青谷高等学校の学習カリキュラムに歴史学習を積極的に取り入れ、一貫した歴史学の拠点としての魅力を高めていく取組を行っている。

特に、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新たなカリキュラムを創設し、1年次生から3年次生に至るまで、継続的に青谷上寺地遺跡を素材とした学習体制を整えるなど、近隣他県にない専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っている。

#### 【事業の目的及び効果】

青谷高等学校の青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から入学した生徒に対して、就学期間中の生活を支援することにより、将来の地元就労や地域貢献など、青谷上寺地遺跡を活用した地域の振興につなげる。

#### 【事業の内容】

青谷上寺地遺跡学習等を履修するため、県外から青谷高等学校へ入学した生徒に対して、本市内に下宿する場合に、生活費の一部を支援する。

青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金  
補助金額 10千円×12か月×2人

#### 【事業の実績】

令和5年度 0千円（0人）

(単位：千円)

前年度当初予算額	360
----------	-----

本年度要求額	360
--------	-----

総務部長段階査定額	240
-----------	-----

#### その他財源の内訳

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	240
---------	-----

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	240
計	240

### 備考欄

#### 【これまでの成果】

青谷高等学校の活性化に資するため、高校の特色ある取組の一つとして「青谷上寺地遺跡学習」を位置付け、県外からの地域留学を後押しできている。（令和6年度より県外からの入学者1名、現在在学中）

#### 【今後の課題】

・継続して地域留学者が入学する為に県、高校と連携して情報発信していく必要があり、県外への情報発信やPR活動、魅力的な学習活動の検討が必要である。

支所005	項目名	青谷地域にぎわい創出事業補助金	新規事業
-------	-----	-----------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所属名	青谷町総合支所 地域振興課
-----	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	2,850
----------	-------

本年度要求額	2,850
--------	-------

総務部長段階査定額	2,850
-----------	-------

市長段階査定額	2,850
---------	-------

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	410
一般財源	2,440
計	2,850

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	410
贈収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【11次総の施策体系】2403

#### 【事業の経過及び背景】

平成28年度から、因州和紙の産地強化とまちなかの賑わいを目的とした、定期的なイベント等に取り組んでいる。

#### 【事業の目的及び効果】

地域資源である因州和紙の魅力を発信する事業、青谷のまちなかに賑わいを取り戻す事業、青谷上寺地遺跡利活用推進事業を通して、地域の魅力づくりと情報発信により地域の活性化を図る。

#### 【事業の内容】

青谷地域にぎわい創出実行委員会に対する補助

- ①青谷因州和紙産地強化事業  
因州和紙市場開拓・情報発信事業  
地域連携事業、伝統技術等の保存・継承事業
- ②青谷ようこそ市場（通称：「あおいち」）事業  
あおいち年3回、あおいちギャラリー、あおいちイルミネーション
- ③青谷上寺地遺跡利活用推進事業  
とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ、青谷かみじちスタンプラリー、  
青谷かみじち史跡公園オープンによるまちなかにぎわいづくりを進めるつどい

#### 【事業の実績】

令和3年度 888千円  
令和4年度 1,969千円  
令和5年度 2,485千円

※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金

### 備考欄

#### 【これまでの成果】

3事業の取組により、まちなかの賑わいづくりや青谷地域の魅力発信に繋がっており、地域活性化が図られている。今後、「青谷かみじち史跡公園」のオープンに併せて、青谷上寺地遺跡や地域の特色を出した多くの地域住民によるイベントへの企画や参加や、賑わいづくりのあり方について個人や団体が議論しており、にぎわいづくりのプロジェクトを推進しているところである。

#### 【今後の課題】

実行委員会の組織体制が形骸化しており、組織の見直しが必要である。事務局となっている鳥取市西商工会をはじめ、参加団体でも人員不足や高齢化により活動の継続が困難になってきている。一方で若い方で賑わい作りに熱心に活動されるグループもあり、そういった団体との連携もすべきと考える。

「青谷かみじち史跡公園」については、史跡公園を自分たちの公園として地域住民が認識できていない状況ある。また、公園を訪れた観光客などが、周辺の青谷地域の歴史文化、自然を訪ねたり、青谷の美味しいものを飲食したり、特産品の購入といった周遊に繋がっていない状況であり、取組の発展が課題である。

支所006	項目名	青谷ようこそ夏まつり事業費	新規事業
-------	-----	---------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位：千円)

前年度当初予算額	950
----------	-----

本年度要求額	950
--------	-----

総務部長段階査定額	950
-----------	-----

市長段階査定額	950
---------	-----

区 分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	950
計	950

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

### 事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【11次総の施策体系】2403

#### 【事業の経過及び背景】

毎年、地域住民が主体となって「青谷ようこそ夏まつり」を開催し、青谷地域の魅力発信に取り組んでいる。継続して実施することで多くの地域住民に認知され、親しまれるイベントとして定着している。

#### 【事業の目的及び効果】

青谷地域の観光・商業振興と地域活性化を目的とし、住民参加型でしかも広域的な取組にしていくことにより、交流人口の増加や地域振興につなげる。また鳥取西道路が開通しアクセスの利便性が高まる中、西いなば地域の重要なイベントとして取り組むことにより、事業の発展および連携の強化を図る。

#### 【事業の内容・実績】

- (1) 事業主体 青谷ようこそ夏まつり実行委員会  
 (2) 内 容 ステージイベント、屋台村（飲食・物販ブース）などの会場イベント

令和3年度 0千円  
 令和4年度 0千円  
 令和5年度 950千円

※令和3年度、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

### 備 考 欄

#### 【これまでの成果】

令和5年度は、3年ぶりの夏まつり開催となり、青谷町をはじめ周辺地域からおよそ1,200人の来場者があった。本事業では、地元高校生や保育園児に発表の場を提供し、来場者は和太鼓や傘踊り、そして歌手ライブなどのステージイベントを楽しんだほか、地元グルメの屋台が20店舗出店し、活気とにぎわいが生まれた。

#### 【今後の課題】

本事業は、青谷地域の夏の恒例事業として定着し、地域住民に親しまれている。ステージイベントなどでその年の目玉イベントを実施しているが、全体としては、毎年同じような内容となっている。また、以前あった打ち上げ花火が山陰道整備の影響で実施できておらず、打ち上げ実施の要望が継続してある。主催者の青谷ようこそ夏まつり実行委員会、鳥取市西商工会では、開催時期を含め、全体の事業内容の見直しを行い、新たなにぎわいを創出し、観光振興を図るべく取り組みを模索しているところである。

支所007	項目名	観光イベント開催補助金(観光キャンペーン事業分)	新規事業
-------	-----	--------------------------	------

予算書項目	観光キャンペーン事業費	ページ	251
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	青谷町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	R6
----	----

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

### 事業の概要

【問合せ先】青谷町総合支所地域振興課 0857-30-8692

【1次総の施策体系】 2403

【事業の経過及び背景】  
平成30年度まで20回開催してきた西いなばフォトコンテストは、手法の固定化により事業効果が充分でなくなってきたため、鳥取市西地域の風土資産等を活用した新たな観光キャンペーン事業を実施する。

【事業の目的及び効果】  
鳥取市西地域のPR及び地域の活性化、商工業の振興を図るため、鳥取市西商工会に対し補助金を交付助成するもの。

【事業の内容・実績（過去3年）】  
○事業主体 鳥取市西商工会  
○内 容 鳥取市西地域の、地域および観光資源をテーマに実施。地域の魅力を再発見するとともに観光振興を図る。

令和3年度	200千円
令和4年度	171千円
令和5年度	198千円

【今後の取り組み】  
道の駅「西いなば 気楽里」と連携した新たな観光キャンペーン等の事業を開催し、西いなば鳥取市西地域のPR及び入込客数の拡大を図る。

(単位：千円)

前年度当初予算額	200
----------	-----

本年度要求額	200
--------	-----

総務部長段階査定額	200
-----------	-----

市長段階査定額	200
---------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	200
計	200

### 備 考 欄

#### 【これまでの成果】

令和5年度は、前年度に引き続き、青谷地域ならではの「弥生グルメ」のチラシとのぼり旗を設置することで、各飲食店の認知度を高めることができ、観光客などの集客を図ることができた。また、青谷かみじち史跡公園のオープンをPRするマグネットシートを車両に貼って走行することで、広く市民に周知することができた。

#### 【今後の課題】

本事業は、鳥取西地域の観光資源などを活用して、観光客の集客と地域活性化を図るものであり、青谷地域だけでなく、気高地域、鹿野地域の観光資源を含めた広域観光として発信していくことが重要である。さらに道の駅「西いなば 気楽里」と連携した取組も必要であり、今後は長期的な事業ビジョンの策定が必要となっている。